

新しい年を迎えて



飛島村長
久野時男

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、名古屋港の物流機能を強化するための名古屋港飛島ふ頭東岸壁の増深改良工事が着工され、名古屋環状2号線の名古屋西JCT（飛島JCT（仮称））の整備が2020年度の開通に向けて進むなど、本村を取り巻く環境は変化しつつあります。

本村においても、総合計画の将来像である「小さくてもキラリと光る村」とびしま」を実現するための核となる各種施策を推進しております。

定住できる地域づくりと人口減少対策の一助とするため、平成27年度から整備を進めてまいりました新規住宅地開発は、第1期分譲地が好評のうちに完売し、1月下旬から第2期分譲を開始いたします。

また、平成25年度から一時避難所・拠点避難所の整備を進め、これまでに新築4棟、改修2棟の整備が完了し、3月には、（仮称）服岡一時避難所が完成する予定です。南海トラフ巨大地震等の災害から村民の皆様の生命と財産を守り、安心して住み続けていただけるよう、今後も防災・減災対策を進めてまいります。

さらに、4月には、子育て家庭等に対する総合的な支援を充実させるため、飛島村子育て支援センターを開設いたします。親子の教室や子育て家庭等の交流促進、子育て相談や情報提供等を行うことで、村民の皆様が安心して子どもを産み育てることができるよう地域づくりをより一層進めてまいります。

加えて、本村の北部は昔ながらの農業地帯、南部はモノづくり中部を支える臨海工業地帯が立地している二面性を持った地域であり、今まで気付かなかった観光資源が豊富に存在しています。その観光資源となりうる原石を発掘し、磨き上げる作業を進めながら、地域の住民が愛着を持つことができる活力（にぎわい）のあるむらづくりを進めるため、（仮称）飛島村観光交流協会の設立に向けて検討を進めております。本村を訪れていただく方々との交流を深め、多

くの方が魅力を感じていただけるむらづくりに取り組んでまいります。

わがむらをさらに誇れる故郷にするため、誠心誠意全力を尽くしてまいりますので、今後とも皆様方のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本年も皆様方のご繁栄とご多幸を祈念し、年頭のご挨拶といたします。

平成30年 元旦

新春を迎えて



愛知県知事
大村秀章

あけましておめでとうございます。

昨年は、愛知総合工科高等学校専攻科の公設民営化や、遠隔型自動運転システムの実証実験、あいち航空ミュージアムのオープン、スタジオジブリ作品をテーマとした「ジブリパーク構想」の立ち上げなど、全国初となる取組、愛知ならではの取組にチャレンジした1年でした。また、アメリカ、ベルギー等の地域と相互協力等の覚書

を締結し、海外とのパイプを一層強固にした1年でもありました。

今年も、愛知の総合力を更に高めるとともに、未来へと続く取組を愛知の発展の種として、しっかりと芽吹かせ、着実に育んでいく1年にしてまいります。

そのためには、リニア開業に向け、鉄道・道路網の強化など中京大都市圏づくりを着実に進めながら、次世代産業の育成・振興、企業立地の促進、中小企業支援、農林水産業の強化、国際展示場の整備などにより、愛知の産業競争力を一層強化してまいります。

また、ジブリパークの2020年代初頭の開業を目指し、夢とファンタジーあふれるジブリの世界を創り上げていくよう、しっかりと取組を進めてまいります。

さらに、認知症にやさしいまちづくりを目指す「オレンジタウン構想」や子どもの貧困対策の推進、スポーツや文化芸術の振興、教育、人づくり、防災、環境、東三河地域の振興などに力を注ぎ、「日本一住みやすい愛知」づくりを進めてまいります。

今年も、「日本一元気な愛知」の実現に向け全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解とご支援をお願い申し上げます。

平成30年 元旦